

事業所名

放課後等デイサービス こもれび

支援プログラム

作成日

R8 年

3 月

20 日

|           |   |   |      |   |         |       |
|-----------|---|---|------|---|---------|-------|
| 法人（事業所）理念 | 明るく人に対して優しい施設・暖かく元気な施設・清潔な施設・安全な施設を基本理念とし、障がいのある人たちが、人間としての尊厳が守られ、より豊かな生活が送れるように支援することを目指します。   |   |      |   |         |       |
| 支援方針      | <p>1. 人権の尊重：集団生活の中で、一人ひとりが明るくやさしさと誇りをもち、自分の意思により決めることができる生活が送れるよう支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意思と個性を尊重します</li> <li>・自主性と自立性を尊重します</li> <li>・プライバシーを尊重します</li> <li>・利用者個人のニーズに応じた個別支援計画を立て、それに基づいた支援に努めます。</li> </ul> <p>2. ノーマライゼーションの樹立：地域社会の中で健康で喜びに満ちた生活が送れるよう支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・清潔を保ち、健康で安全に活動できるよう努力します</li> <li>・生きがいや楽しみを大切にします</li> <li>・すべての人が手をつなぎ、共に生きる生活を目指します</li> <li>・提供するサービス内容についての相談・苦情を受け、すべての利用者に平等に対応し解決にあたります。</li> </ul> |   |      |   |         |       |
| 営業時間      | 10 時  | 20 分から  | 18 時 | 30 分まで  | 送迎実施の有無 | あり なし |
| 支 援 内 容   |   |   |      |   |         |       |
| 本人支援      | 健康・生活   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康状態の維持や改善、ADLの習得、向上を目的とした支援を行います。</li> <li>・こもれびファームで実際に種や苗から季節の野菜を育て、水やり、草抜き、収穫等を体験して、その作物を用いてのクッキング、調理実習を通して食への喜びを感じられる様、食育を行っています。</li> </ul> |      |   |         |       |
|           | 運動・感覚   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・トランポリンやボルダリングを使用し、体を動かすことを楽しみ、遊びの中でバランス感覚や運動機能の向上を図れる様に支援を行っています。</li> <li>・リトミック活動を通して、リズム感を養い、緩急や強弱のつけ方や表現力が身につけられるように支援を行っています。</li> </ul>     |      |   |         |       |
|           | 認知・行動   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特性に合わせて本人のストロングポイントを活かせるように支援を行い、物事に対して興味、関心を持てる様、環境設定を行っています。</li> <li>・苦手な事にも本人のペースで取り組めるように支援を行い、自主的に取り組んで楽しめるように支援を行っています。</li> </ul>         |      |   |         |       |
|           | 言語<br>コミュニケーション   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の中で、コミュニケーションを取り、人と話すことの喜びを感じ、適切な言葉遣いを学べるように取り組んでいます。</li> <li>・言葉だけではなく、ジェスチャーや表情、しぐさ、ティーチカード等を用いて、自分の思いを発信出来るように環境設定を行っています。</li> </ul>       |      |   |         |       |
|           | 人間関係<br>社会性   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・集団生活の中で、必要な社会性や適切な人間関係の構築が出来るように環境設定を行い、感情を分かち合える場を提供します。</li> <li>・他者と過ごす中で、セルフコントロールを身につけ、物事を前向きに捉えることが出来るように、支援を行っています。</li> </ul>             |      |   |         |       |
| 家族支援      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅での問題や気づきをいつでも話せる環境を作り、家族が休息を取れるようにサポートをします。</li> </ul>  | 移行支援  |      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・進級、進学、就職に際し、必要な情報を提供、共有しながら、本人、家族が安心して新たな環境に進めるように関わります。</li> </ul>                               |         |       |
| 地域支援・地域連携 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校や他施設等からの相談や共有があれば、療育的視点での提案や助言を行います。</li> </ul>   | 職員の質の向上   |      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修等で学び、障がいへの理解を深め、専門的な支援を行えるようにスキルアップを図っています。また、虐待防止研修を定期的に行い、適切な支援を行えるように環境設定を行っています。</li> </ul> |         |       |
| 主な行事等     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期休みの期間に調理実習を行います。</li> <li>・季節に合わせて、こもれびファームの野菜の植え付け、収穫等を行います。</li> <li>・季節ごとに皆さんが楽しめる行事を実施しています。（ひな祭り、クリスマス会、納会、カラオケ等）</li> </ul>   |   |      |   |         |       |

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |                 |    |            |
|----------------|-----------------|----|------------|
| ○事業所名          | 放課後等デイサービス こもれび |    |            |
| ○保護者評価実施期間     | R8年 3月 2日       |    | R8年 3月 13日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)          | 21 | (回答者数) 21  |
| ○従業者評価実施期間     | R8年 3月 2日       |    | R8年 3月 7日  |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)          | 6  | (回答者数) 6   |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | R8年 3月 19日      |    |            |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み(※)だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること   | 工夫していることや意識的に行っている取組等  | さらに充実を図るための取組等   |
|---|--|--|--|
| 1 | 法人のファーム(こもれびファーム)を活用し、野菜の植え、水やり、草抜き、肥料、収穫などの体験をすることが出来る。実際に育てることで、作物に対する愛着も湧き、収穫した作物を使用してクッキングや調理実習を行うことで、普段は食べない野菜も食べるなどの食育の一連の流れを踏むことが出来る。 | 季節ごとに野菜を作り分け、旬の野菜を収穫して、四季を感じ取れるよう、取り組んでいる。<br>こもれびファームの稼働が始まって年数も経ち、実際に作物の収穫や植え付けの時に、「今の季節」を感じられている。                     | 今後、ファームの拡大を計画しており、作る野菜や果樹の種類も増え、新たな体験(場所も含めて)が出来るように取り組んでいる。                                   |
| 2 | 人数に対して、十分な活動スペースの確保が出来ている。プレイルームにおいては、ボルダリングやトランポリン、ジャンポリン、ボールプールなど遊具を取り揃えており、楽しみながら体を動かしたり、運動機能の維持、向上に繋がっている。                               | 特性により、集団での活動が苦手なり方もいる為、そのための個別のスペースの確保を行うとともに、その際もみんなの活動の様子も見えるようにして置くことで、自分のタイミングや促しの声掛けで、自分のペースで集団での活動に参加できるように対応している。 | 現在の日々の活動は勿論のこと、広いスペースを活用した様々な活動を今後も考えて、利用者の皆さんが日々を楽しく過ごせるように取り組んでいく。                           |
| 3 | おやつはクッキングで自分たちで作ることにこだわり、クッキングを通して楽しみながら作り、出来立てを食べられるようにしている。  | ファームで採れた野菜を用いて、自分たちで作ったものでの調理実習やクッキングも出来るようにしている。  | 皆さん、クッキングを楽しみにされている為、今までのメニューはもちろんの事、新たなメニューも提案できるようにしていく。                                     |
| 4 | 同一法人に、様々な事業所がある為、将来に向けての見学等も適宜行うことが出来る。また、普段目にしておくことで、不安や緊張が軽減した状態で移行することに繋がる。それにより、将来の進路へとつなげている。   | 就労支援B型事業所こも庵(麵BARこも庵)へ昼食を食べに行く機会を設けることで興味関心を持つことや卒業した先輩が実際に働く様子を見て、「自分もこうなりたい」との気持ちにつながっている。                             | 希望があった際に、長期休み等の際に見学へ行ける機会を随時設けていく。   |
|   | 事業所の弱み(※)だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること   | 事業所として考えている課題の要因等  | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等   |
| 1 | 地域との交流が、どんど焼き等、年1回程度で外部との交流の機会は少ない。  | ・現在行っている定期的な交流以外での新たな機会を設ける予定が無い為。<br>・外部との交流を望んでいない保護者の意見もある為。  | 地域との交流の機会は少ないが、その分同一法人内の他事業所との関わりの機会は行事などの際に設けており、今後も機会を設けて、放課後等デイサービス以外の方との関わりの機会を持てるようにしていく。 |
| 2 |  |  |  |
| 3 |  |  |  |

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス こもれび

公表日 令和8年3月31日

利用児童数 21名

回収数 21名

|                                      | チェック項目 | はい  | どちらとも<br>いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応   |  |
|--------------------------------------|--------|---|---------------|-----|-------|-----|--|--|
|                                      |        |   |               |     |       |     |  |  |
| 環境・<br>体制<br>整備                      | 1      | こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。  | 20            |     |       | 1   | ・様々な活動ができるスペースがあり、楽しそうです。                                  |  |
|                                      | 2      | 職員の配置数は適切であると思いますか。   | 17            | 1   |       | 3   | ・日々の細かい配置を知らないのです。   |  |
|                                      | 3      | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。  | 19            |     |       | 2   | ・エレベーターやスロープも設置して動きやすいです。<br>トイレ等もわかりやすい工夫がされています。         |  |
|                                      | 4      | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。   | 20            |     |       | 1   | ・いつ行っても綺麗にされています。  |  |
| 適切<br>な<br>支<br>援<br>の<br>提<br>供     | 5      | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。  | 20            |     |       | 1   | ・子供の特性を理解して、無理をさせずに対応してもらっています。                            |  |
|                                      | 6      | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。  | 19            | 1   |       | 1   |  |  |
|                                      | 7      | こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。   | 20            | 1   |       |     | ・面談時に丁寧に聞き取りをしてくださり、作成してくださっていると思います。                      |  |
|                                      | 8      | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 21            |     |       |     |  |  |
|                                      | 9      | 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。  | 20            | 1   |       |     |  |  |
|                                      | 10     | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。   | 17            | 2   |       | 2   | ・リトミックやボルダリングや、外での活動などいろんな活動があり工夫されていると思います。               |  |
|                                      | 11     | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。  | 5             | 6   | 5     | 5   | ・親としても、特に望んでいないので無い方がいいです。                                 |  |
| 保<br>護<br>者<br>へ<br>の<br>説<br>明<br>等 | 12     | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。   | 20            |     |       | 1   |  |  |
|                                      | 13     | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。   | 21            |     |       |     |  |  |
|                                      | 14     | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。  | 6             | 6   | 3     | 6   | ・〇〇会みたいなのはありませんが、都度相談に乗っていただいています。                         |  |
|                                      | 15     | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。  | 20            | 1   |       |     | ・連絡帳と別に、降園時にその日の様子等伝え合っています。<br>・子供の状況にあった支援をお互い理解の上行っている。 |  |
|                                      | 16     | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。   | 19            | 2   |       |     | ・適切な助言を受けている。  |  |
|                                      | 17     | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。   | 19            | 1   |       | 1   |  |  |
|                                      | 18     | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。          | 3             | 8   | 4     | 6   |  |  |

|         |    |  |    |   |   |   |                       |  |
|---------|----|--|----|---|---|---|-----------------------|--|
|         | 19 | こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 16 | 1 |   | 4 | 都度相談させてもらっています。       |  |
|         | 20 | こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。  | 19 | 1 |   | 1 |                       |  |
|         | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。                           | 17 | 1 |   | 3 | 毎月、書面で活動や行事等発信されています。 |  |
|         | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。   | 19 | 1 |   | 1 |                       |  |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。         | 17 |   | 1 | 3 |                       |  |
|         | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。   | 16 | 1 |   | 4 |                       |  |
|         | 25 | 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。                                     | 17 | 1 |   | 3 |                       |  |
|         | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。                                      | 20 |   |   | 1 |                       |  |
| 満足度     | 27 | こどもは安心感をもって通所していますか。   | 21 |   |   |   |                       |  |
|         | 28 | こどもは通所を楽しみにしていますか。   | 20 | 1 |   |   | ・とても楽しんでいます。          |  |
|         | 29 | 事業所の支援に満足していますか。   | 19 | 2 |   |   | ・親身に支援していただいています。     |  |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名    |        | 放課後等デイサービス こもれび  |     | 公表日     |  | 令和8年 3月 31日 |  |
|---------|--------|--|-----|---------|--|-------------|--|
|         | チェック項目 | はい   | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点                                  |             |  |
| 環境・体制整備 | 1      | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。   | 6   |         | ・かなり広いスペースがある。<br>・広々とした空間であり、静養室なども設けている。 |             |  |
|         | 2      | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。  | 6   |         | ・配置基準を満たしている。                              |             |  |
|         | 3      | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。  | 6   |         | ・入り口にはスロープを設置している。                         |             |  |
|         | 4      | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。  | 6   |         | ・活動の中で、利用者と職員と一緒に清掃活動や消毒を時間ごとに行っている。       |             |  |
|         | 5      | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。   | 6   |         |  |             |  |
| 業務改善    | 6      | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。   | 6   |         |  |             |  |
|         | 7      | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。   | 6   |         |  |             |  |
|         | 8      | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。   | 6   |         | ・毎日欠かさずミーティングを行い、業務改善につなげている。              |             |  |
|         | 9      | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。   | 6   |         |  |             |  |
|         | 10     | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。  | 6   |         |  |             |  |
|         | 11     | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。  | 6   |         |  |             |  |
|         | 12     | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。   | 6   |         |  |             |  |
|         | 13     | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。   | 6   |         | ・担当者会議を行い、職員全員が共通理解できるよう努めている。             |             |  |
|         | 14     | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。  | 6   |         |  |             |  |
|         | 15     | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。  | 6   |         |  |             |  |
|         | 16     | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 6   |         |  |             |  |

|              |    |  |   |   |  |  |
|--------------|----|--|---|---|--|--|
| 適切な支援の提供     | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。   | 6 |   | ・必ず職員間で活動プログラムを計画する為のミーティングを行っている。                             |  |
|              | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。   | 6 |   | ・固定化しないようミーティングを行い、職員間で意見を出し合う。                                |  |
|              | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。                     | 6 |   |  |  |
|              | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。              | 6 |   |  |  |
|              | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。                       | 6 |   |  |  |
|              | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。                                       | 6 |   |  |  |
|              | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。                        | 6 |   |  |  |
|              | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。                             | 6 |   |  |  |
|              | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。                         | 6 |   |  |  |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。                     | 6 |   |  |  |
|              | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。                   | 6 |   |  |  |
|              | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。      | 6 |   | ・毎月、利用一覧表での利用確認のやり取りを行っている。キャンセル等利用変更があった場合は、FAXや電話での連絡を行っている。 |  |
|              | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。                     | 3 | 3 |  |  |
|              | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。             | 6 |   | ・必要な場合は、状況に応じて情報提供を行っている。                                      |  |
|              | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。                      | 3 | 3 |  |  |
|              | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。                                       | 3 | 3 |  |  |
|              | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。  | 3 | 3 |  |  |
|              | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。                             | 6 |   |  |  |
|              | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 3 | 3 |  |  |
|              | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。   | 6 |   |  |  |

|          |    |  |   |   |  |   |
|----------|----|--|---|---|--|---|
| 保護者への説明等 | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。         | 6 |   |  |   |
|          | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。                                 | 6 |   |  |   |
|          | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。  | 6 |   |  | ・保護者から相談があった際は、迅速に解決できるよう放課後デイでできる限りの必要な支援を行っている。 |
|          | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | 3 | 3 |  |   |
|          | 41 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。                       | 6 |   |  | ・苦情委員会を設置している。                                    |
|          | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。                   | 6 |   |  | ・毎月、園だよりを発行し活動や行事を発信している。                         |
|          | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。  | 6 |   |  |   |
|          | 44 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。  | 6 |   |  |   |
|          | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。  | 4 | 2 |  |   |
| 非常時等の対応  | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。            | 6 |   |  |   |
|          | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。                                  | 6 |   |  |   |
|          | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。  | 6 |   |  |   |
|          | 49 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。   | 6 |   |  |   |
|          | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                               | 6 |   |  |   |
|          | 51 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。                                  | 6 |   |  |   |
|          | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。  | 6 |   |  |   |
|          | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。   | 6 |   |  | ・定期的に施設内に設立されている虐待防止委員会主催の研修が行われている。              |
|          | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。           | 6 |   |  |   |